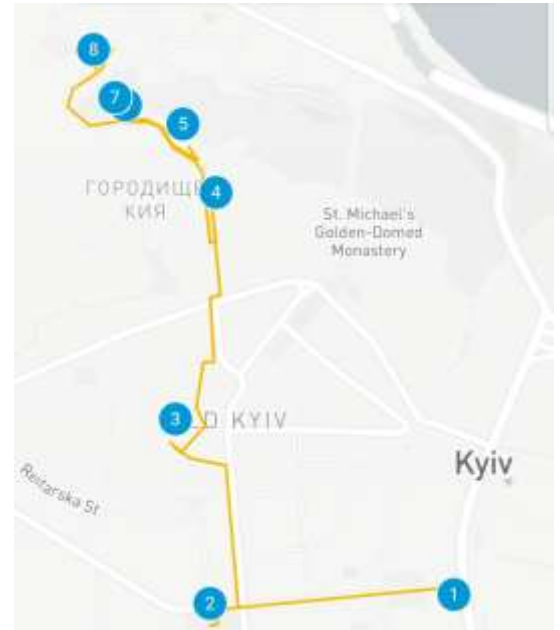


旧市街とキエフのモンマルトル（散策ツアー）

ツアー時間: 3 時間

キエフ市街を散策してまいります。「（フランスの）モンマルトルと並び称されるキエフ旧市街地の散策は、フレッシュチャーティクという大通りから始まります。もし、タイムマシンを使い、1000年くらい前のキエフに戻れましたら、ここ旧市街は大きな幹をもつ樹木がいたる所にあったことでしょう。今は、にぎやかな通りになっていて、ここから一時間もあればキエフのどこへも行くことができます。

ゆかり会社と一緒にキエフ市を楽しみましょう！



ご覧になれます:

1. フレッシュチャーティク大通り

フレッシュチャーティクは大通りとして、19世紀に造られました。その当時、キエフはウクライナの大部分と同じようにロシア帝国に属していました。19世紀、20世紀前半にもいろいろなカフェやレストランや店などがありましたが、建物の様子は現在とはずいぶん違っていました。1912年に（今立っている所に）ウクライナで最初の「ギンズバーグ・ビル」という摩天楼）が建てられました。その建物はロシア帝国で最初の11階建てでした。



2. 黄金の門

11世紀から17世紀にかけて都市の正門として使われた黄金の門が建っています。今日これはキエフ大公国の自衛記念碑、東ヨーロッパの最古の建造物の一つ、もちろんウクライナ首都の象徴です。ここは、都市の入り口の正門だったので、最も重要な場所でした。

他国からの大使は、この黄金の門をくぐり抜け、都市に到着しました。



3. ソフィア広場

キエフ大公国時代からこの広場はキエフ市の中心でした。ここで各種の協議会が行われました。16-19世紀には市場の場所でもありましたが、それに博覧会も行われました。20世紀の始めに、ここでは色々な政治的な党派がミーティングや抗議行動などを行っていました。



4. 古キエフ山

ここは、歴史や考古学の面から、また建築、芸術など面から最も重要な地域です。キエフ州の年代記によると、キエフを設立したキーイがここに在位していました。ここには古代都市が形成されました。以来、ここにキエフ大公国の歴代の大公がここに住み、政治を取り仕切ってきました。



5. 聖アンドリーイ教会

教会成立の歴史は、18世紀の中頃になります。その時代には、キエフは巨大なロシア帝国の多くの町の一つでした。しかし、それにもかかわらず、ロシアのエリザヴェータ女帝はキエフを訪問した後、町が気に入って、ここで自分のために教会と殿堂を建てることを望みました。



6. キエフのモンマルトル(アンドリー下り)

ヨーロッパの国々の首都には、歴史や建築、芸術や文化が融和した特別な一帯があります。キエフも例外ではなく、お客様をアンドリー坂という誰もが親しむ現代的な通りにご案内してまいります。アンドリー坂は、いつもストリートパフォーマンスや珍しいストリートアートが見られます。



7. ウクライナ新生の壁画

現在の様式は、改革的な着想の壁画が多く見られます。壁画アートは民俗学的な現象と呼ぶことができるようです。今の政治的社会的な状況によって、家屋などにある絵柄を自分自身の思いとして表現しています。ここはウクライナ、私たちはウクライナ人、そしてこれは私たちの地球という独創的な表現です。.



- 博物館に入りたい方はツアーの前にお知らせして頂けたら幸いです。